

中学校タブレット整備(学校教育ICT化推進事業)

現状と課題

本市中学校では、タブレットなど授業で活用するICT環境が未整備
 国の方針は、平成33年度からデジタル教科書を本格採用
 ↓
 堺市の中学生は、デジタル教科書などのICTを活用した授業を受けることができない

平成29年度にはパイロット校として3校を整備
 効果検証の結果、以下のように効果が確認できた。
 ・学力の向上に効果がある。
 ・生徒へのアンケートで8割以上の生徒が「これまでより授業がわかるようになった」と回答
 ・全教員へのアンケート調査で「授業改善に効果がある」ことが確認できた。
 →平成30年度は40校の通常学級に整備

課題解決に向けて

小学校で実証されている「堺スタイル」によるタブレットとデジタル教科書の組み合わせで、効果的に授業改善を実現（小学校の指導・学習スタイルを継承）

小中学校のすべての児童生徒がICTを活用した授業を受けることができる。



- * 適切かつタイムリーな教材提示
- * 生徒の考えを即時・効果的に提示、意見を共有
- * 生徒の積極的な意見発表・授業参加
- * 個別指導の支援

指導者用デジタル教科書の特性を最大限にかつ効果的に活用できる環境を実現

整備スケジュール案

H29	H30	H31
3校整備	40校 通常学級整備 (活用研修)	40校 支援学級・特別教室整備 (活用研修)
効果検証	新学習指導要領先行実施	新学習指導要領先行実施



H30 134,364千円(リース現年6か月分) 5年総計1,343,640千円